

②非労働力人口の過去との比較

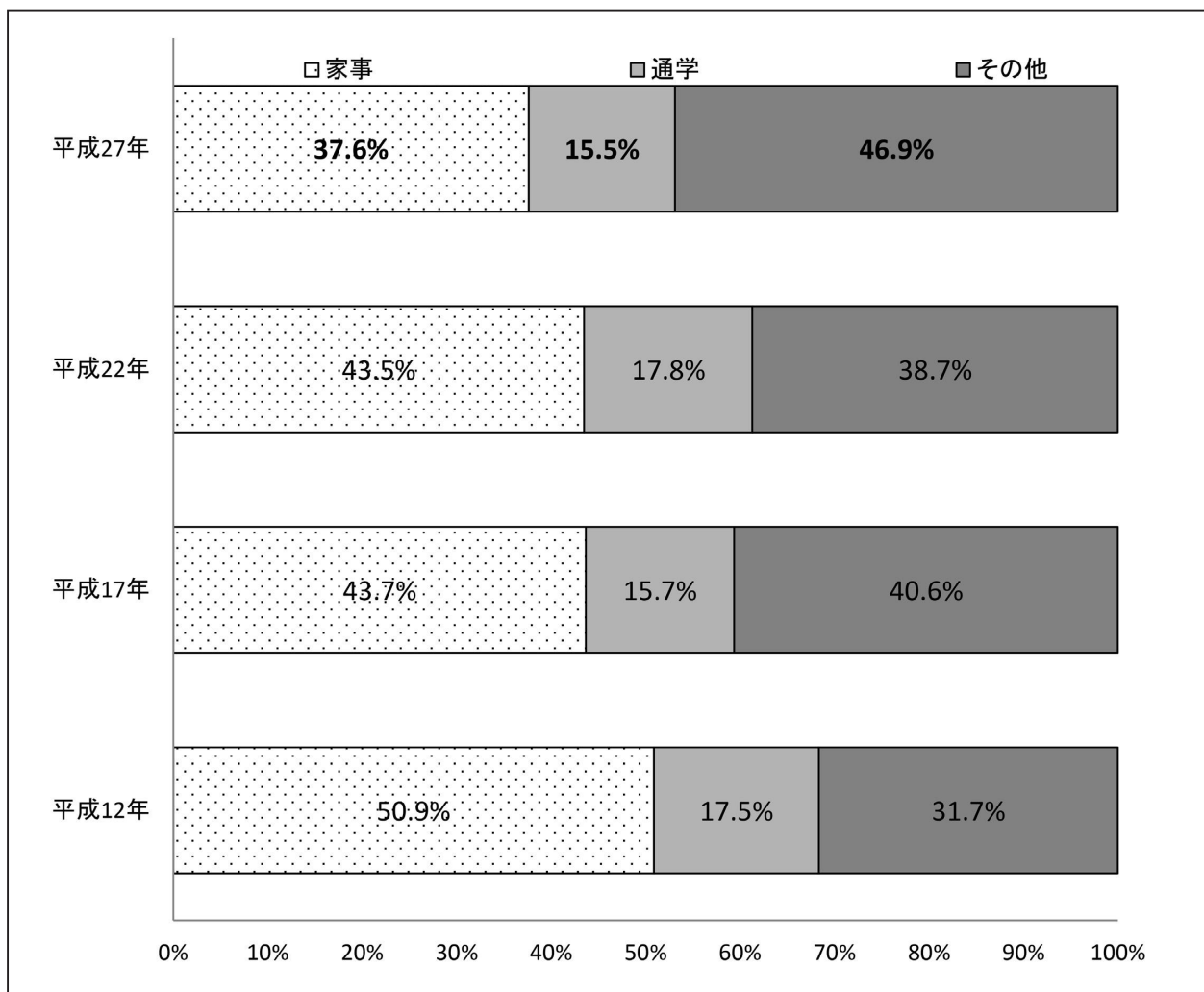
平成27年の非労働力人口が11万6,970人に対し、平成12年調査では12万5,970人、平成17年調査では12万7,918人、平成22年調査では11万8,666人となっており、平成17年以降減少傾向にある。(表4)

過去の内訳割合を見ると、非労働力人口のうち家事に従事していた人が一番多い傾向が続いていたが平成27年調査では、その他の割合が5割近くを占めている。平成22年と比較して、家事に従事していた人の割合は5.9%減少した。(図3)

表4 非労働力人口の内訳 過去との比較

	非労働力人口			
	総数	家事	通学	その他
平成12年	125,970	64,088	21,991	39,891
平成17年	127,918	55,868	20,085	51,965
平成22年	118,666	51,587	21,162	45,917
平成27年	116,970	44,022	18,103	54,845

図3 非労働力人口内訳 割合の推移



4 葛飾区における外国人と日本人の労働力人口と非労働力人口の比較

葛飾区における外国人の15歳以上人口は1万1,512人、そのうち労働力人口は4,408人、非労働力人口は2,242人である。平成27年調査での結果を基に、外国人と日本人の労働力人口と非労働力人口について比較してみる。

①外国人の労働力人口

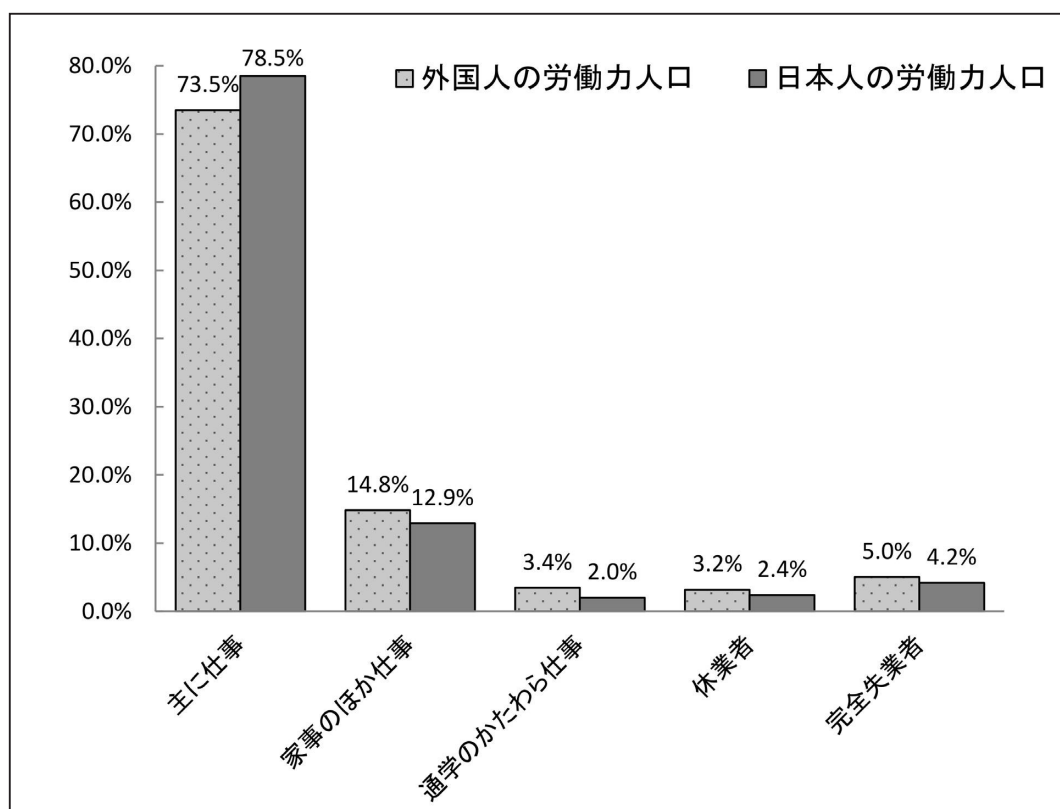
労働力人口4,408人のうち、就業者は4,186人である。その内訳として、主に仕事に従事する者が3,240人であり、労働力人口の73.5%を占めている。また、家事のほか仕事に従事していた者は654人(14.8%)、通学のかたわら仕事に従事していた者が152人(3.4%)、休業者が140人(3.2%)である。(表5)

日本人の労働力人口の割合と比較してみると、主に仕事に従事していた者の割合は日本人の方が多いことが分かる。対して、家事や通学のかたわら仕事に従事していた者、休業者の割合は、外国人の方が多いう結果になった。(図4)

表5 外国人の労働力人口の内訳

労働力人口(4,408人)				
就業者(4,186人)				完全失業者
主に仕事	家事のほか仕事	通学のかたわら仕事	休業者	
3,240	654	152	140	222
73.5%	14.8%	3.4%	3.2%	5.0%

図4 外国人と日本人の労働力人口内訳の割合の比較



②外国人の非労働力人口

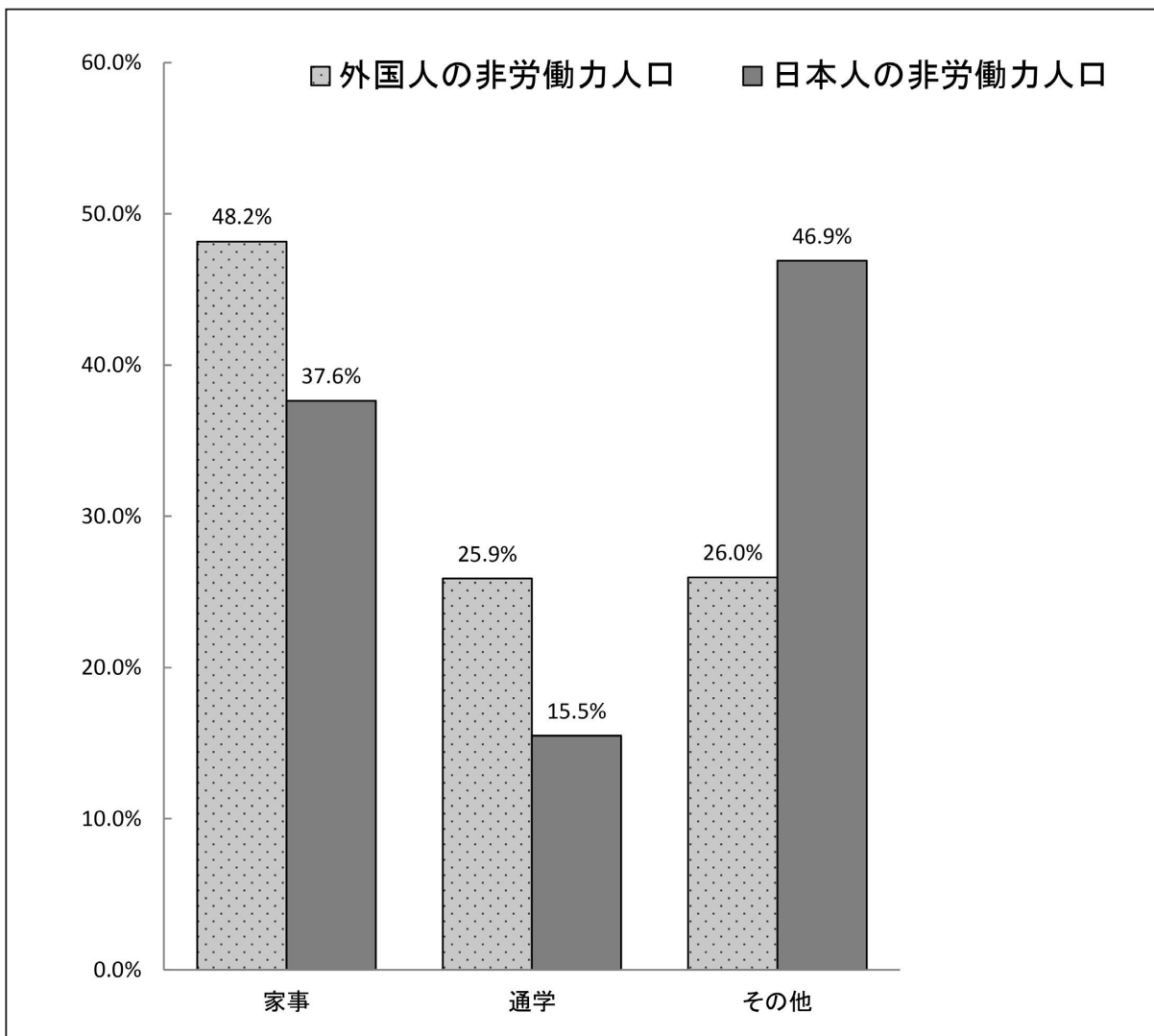
非労働力人口2,242人のうち、主に家事に従事する者は1,080人であり、非労働力人口の約50%を占めている。(表6)

非労働力人口の内訳について日本人と比較すると、主に家事に従事する者の割合は、外国人が48.2%なのに対して、日本人は37.6%、主に通学する者の割合は、外国人が25.9%で、日本人は15.5%であり、両者とも外国人のほうが高い割合であることがわかる。(図5)

表6 外国人の非労働力人口の内訳

非労働力人口 (2, 2 4 2 人)			不 詳
家 事	通 学	そ の 他	
1,080 人	580 人	582 人	4,862 人
48.2%	25.9%	26.0%	

図5 外国人と日本人の非労働力人口内訳の割合の比較



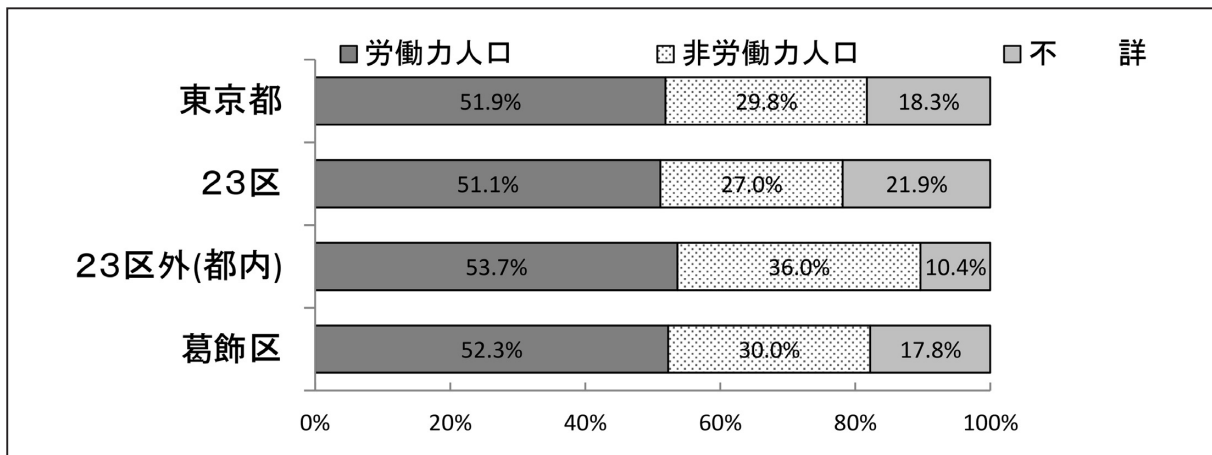
5 東京都、23区、23区外(都内)との比較

東京都の15歳以上人口（11,739,671人）に対して労働力人口は6,094,436人であり、全体の51.9%を占める。また、非労働力人口は3,497,591人（全体の29.8%）であり、葛飾区の15歳以上人口の割合と類似している。

23区に着目すると、15歳以上人口（8,086,279人）に対し、労働力人口が4,133,813人で全体の51.1%、非労働力人口が2,183,253人で全体の27.0%を占めている。東京都同様、葛飾区の15歳以上人口の割合と類似していることが分かる。

また、23区外（都内）の15歳以上人口が3,653,392人に対して労働力人口が1,960,623人（全体の53.7%）であり、葛飾区の割合と類似する。しかし、非労働力人口は1,314,338人（全体の36.0%）のため、葛飾区は23区外（都内）と比較すると、非労働力人口の割合が6.0%低いことがわかる。（図6）

図6 15歳以上人口の内訳の割合の比較



労働力人口は「主に仕事に従事する人」、「家事のほか仕事に従事する人」、「通学のかたわら仕事に従事する人」、「休業者」、「完全失業者」に分類されるが、それぞれの割合は東京都、23区、23区外、葛飾区で類似していることがわかる。（図7）

図7 労働力人口の内訳の割合の比較

